

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 924 号	氏名	小河原 大樹
学位審査委員	主査	永安 武	
	副査	中尾 一彦	
	副査	柳原 克紀	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、無治療進行非小細胞肺癌患者におけるアムルビシンとネダプラチンの併用療法の効果を第 I・II 相試験により検討したもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 本研究では、非小細胞肺癌と診断された臨床病期 III B、IV 期または術後再発症例を対象とし、第 I 相試験において最大耐量及び用量規制毒性を決定した後、第 II 相試験において奏効率、無増悪生存期間、全生存期間、毒性を検討しており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ネダプラチン 100mg/m <sup>2</sup> Day1、アムルビシン 25 mg/m <sup>2</sup> Day1-3 の至適投与量により、全奏効率 48.6%、無増悪生存期間中央値 4.7 ヶ月、生存期間中央値 20.0 ヶ月、1 年生存率 71%と、忍容可能で良好な成績を得た。本研究により未治療進行性非小細胞肺癌に対するアムルビシンとネダプラチン併用療法の有用性が示唆された。			
以上のように本論文は、肺癌治療の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			